

令和7年度 市民と議会の意見交換会
「もっと知りたい！議会のこと」
報告書

令和7（2025）年11月22日開催

- 1 意見交換会の概要
- 2 説明概要
- 3 市民意見概要
- 4 参加者アンケート
- 5 議会運営委員会による振り返りと改善への意見
- 6 資料編
 - (1) チラシ・ポスター
 - (2) 次第
 - (3) アンケート用紙

武蔵野市議会 議会運営委員会

1 意見交換会の概要

◆意見交換会開催の経緯

武蔵野市議会では、平成 23（2011）年度より議会基本条例の検討に取り組み、平成 30（2018）年度に条例素案及び逐条解説を取りまとめました。翌年に開催した市民との意見交換会や素案に対するパブリックコメントへの御意見を踏まえ、令和 2 年第 1 回定例会にて議会基本条例を可決し、令和 2（2020）年 4 月 1 日より施行となりました。

本条例の第 9 条には、「市民との意見交換」の規定も盛り込まれていることから、令和 4（2022）年 11 月 27 日に第 1 回目の「市民と議会との意見交換会」、令和 6（2024）年 11 月 23 日に第 2 回目を実施し、今回で第 3 回目を議会運営委員会が中心となり実施しました。



<会場の様子>

◆議会運営委員会 委員（8名）

川名 ゆうじ（委員長） 宮代 一利（副委員長）

東山 あきお、落合 勝利、藪原 太郎、与座 武、橋本 しげき、山本 ひとみ

◆当日運営に参加した議員（15名）

木崎 剛（議長） 西園寺みきこ（副議長）

きくち 由美子、大野 あつ子、深田 貴美子、本多 夏帆、小林 まさよし、

浜田 けい子、菅 源太郎、さこう もみ、蔵野 恵美子、三島 杉子、

本間 まさよ、下田 ひろき、深沢 達也

◆日時

令和 7 (2025) 年 11 月 22 日 (土曜日) 13 時 30 分～15 時 30 分

◆場所

武藏野市役所 8 階 811 会議室

◆当日の様子

参加者 10 名 (オンライン参加者 1 名含む)

市議会議員 23 名、事務局 2 名

◆当日の流れ

開会 (司会) 宮代 議会運営委員会副委員長

議長挨拶 木崎 議長

開催趣旨説明 川名 議会運営委員会委員長

市議会だより説明 菅 議会広報委員会委員長

意見交換 (テーブルディスカッション及び発表)

グループ発表 担当議員からの発表

全体質疑応答

副議長挨拶 西園寺 副議長

閉会

◆オンライン参加の併用

オンライン (ZOOM) を併用して実施

事前申込制 案内チラシ、市議会だより、市報を通じて広報

参加者 1 名 (事前申込み 2 名)

◆手話通訳対応

手話を必要とされる方に対し、会場及びオンラインの手話通訳対応を行う

事前申込制 案内チラシ、市議会だより、市報を通じて広報

利用者 会場、オンラインともになし

◆キッズスペースの設置

お子様連れの参加者対応として、キッズスペースを用意

利用者 なし

◆広報

市議会だより、市議会ホームページで開催案内を実施

案内チラシ・ポスターを作成し、各コミュニティセンターに議会運営委員会委員が配布

2 説明概要

意見交換の冒頭に木崎議長よりこれまでの取組と市民からの意見を伺うことについて、挨拶とともに説明が行われました。要点は以下のとおりです。

- ・議会の改革として、市民の皆さんからの御意見もあり本会議だけでなく委員会のネット中継を実施している。
- ・議会基本条例にあるように広聴として市民意見交換会を実施し、市民から議会への要望の実現に努めてきた。
- ・各常任委員会では関係団体からの意見も伺っている。
- ・昨年からは、中学生からも意見を聞くことなどを目的に中学生議会も実施した。
- ・今回は、議会について分からぬことを伺うことと、市議会だよりをリニューアルしたことから、市議会だよりへの御意見を伺うことも目的として実施した。

続いて川名議会運営委員長より、意見交換会の流れを説明しました。要点は以下のとおりです。

- ・グループワークのテーマは2つ。
 - ①市議会だよりをリニューアルしたので、内容について御意見を伺いたい。
 - ②議会による広聴について、今回のような意見交換会の手法以外にどのような方法が意見を出しやすいか、他の手法について御意見を伺いたい。
- ・その他、ふだんから議会に思っていることを何でも構わないので御意見を伺いたい。
- ・各テーブルには、議会運営委員会の委員と議会運営委員会委員以外の議員が付いて、お話を伺い、グループごとに発表した後、最後に全体で意見交換を行う。

次に、菅議会広報委員長より、各テーブルにリニューアル前の市議会だより399号とリニューアルした後の400号を配付し説明を行いました。要点は以下のとおりです。

- ・約20年からリニューアル前の市議会だよりが発行されてきた。
- ・2015年頃からリニューアルの議論が始まり、足掛け10年かけてリニューアルに至った。
- ・この間、あきる野市議会の議会だよりなどを参考に、研修や市民への街頭アンケートやパブリックコメントなどを行った。
- ・当初は、A4のフリーペーパー版が良いとの意見になったが、印刷や配送の費用も掛かるところから、最終的には引き続きタブロイド版にして、現状の情報量を減らさないという方針を令和元（2019）年度に決定した。
- ・議会基本条例で、第18条に広報広聴の充実として、「議会は、多様な方法を用いて、広報及び広聴活動に努めるものとします。」と規定されたこともあり、令和3（2021）年の各会派のアンケートを基にして、このリニューアルまでのスケジュールを令和4（2022）年度に決めた。
- ・令和5（2023）年度及び令和6（2024）年度と2年かけて具体的な検討を進めて、400号のリニューアルに至った。
- ・具体的には、一般質問のページでは顔写真を少し大きくし、見出しも大きくした。
- ・二次元コードを付けて、一般質問のインターネット中継のサイトに飛ばすことも行った。
- ・最終面に議員それぞれの賛否が分かるようにした。リニューアル前の全会一致、あ

るいは賛成多数の表現を改善した。

- ・縦書き右綴じを、横書き左綴じへと変更した。

説明の後、会場でのグループワークを2テーブルに分け実施しました。オンラインは1名が参加し、意見交換を実施しました。

3 市民意見概要

グループワークでいただいた意見について、テーブル担当議員より概要を発表しました。

各グループではテーブルに配付した模造紙と付箋に意見をまとめたことから、以下にいただいた意見をまとめます。

最後の全体意見交換会では、議会が何をしているかよく分からず、伝わっていないとの御意見もありました。

御質問ではなく御意見が多かったことから、いただいた御意見を参考に今後の議会運営に生かしていきます。

○オンライン

- ・市議会だよりを、毎回丁寧に隅から隅まで見てくださっている方の御参加だった。
- ・賛成・反対の誰が賛成して誰が反対したのか詳しく出るようになったのは、すごく良かった。
- ・しかし、なぜ反対したかの背景が見えてこない。
- ・議事録を探して読みに行くのは現実的ではないので、どのような議論があったのか、経過を知りたい。
- ・例えば、該当の議事録に飛べるような二次元コードを用意できないか。
- ・市議会だよりは紙で配布するコミュニケーションだが、印刷も配布もコストがかかっているだろう。もっと簡易な身近なコミュニケーションが増えると良い。
- ・今回の意見交換会のように、大々的に年に1回やるよりも、例えばコミセンを順番

に回ってやってみると、小さくしても頻度を増やすことも良いのではないか。

○グループA（会場南側）

・広聴・陳情・傍聴等について

1. マルシェやフェスタ的に議員と話はできないか。（ハードルを下げる）
2. 予特や決特をコミセンなどでやれないか。
3. 平日は傍聴できない。土日議会は？
4. 現地/オンラインハイブリッドはオンラインの人がやりにくい。オンラインONLYイベントも良いだろう。
5. 意見を言うのにハードルが高い。
6. 食い付くテーマ。
7. チームみらいのオープンソースの仕組みはいいよ。
8. 市長への手紙 議会に共有。
9. 市民参加が進んでいる。
10. 陳情が優れている。
11. 傍聴を勧めては？
12. 陳情にフューチャーしては？
13. 市議会が身近ではない。
14. 意見交換会のテーマがわからなく、参加しにくい。
15. 市議会と交流を持てない気がする。

・市議会だよりについて

1. トピックの軽重があっても良い。トピカルな話題を分かりやすくしては？
2. 二次元バーコードを使っているのに、ログを取っていない。
3. 議案と言われても？ 分かりやすく書けないか。
4. 議員、会派ごとに情報が整理されている。テーマごとに整理しては？

5. 配布時の重ね順。気付かない。市報→市議会だより。
6. 市議会だより ネットで配信を。
7. PDF だけでなく、テキストデータがあっても良い。
8. YouTube の利用について
9. 市議会だよりリニューアルで良くなった。

○グループ B (会場北側)

・広聴・報告会について

1. 人の集まる場所に、議員の紹介と併せて意見箱を置いたらどうか。
2. 意見箱などを置いて、要望や意見をもらうのもあり。
3. 議員の生の声を聞きたい。市議会だよりでは、どんな人か分からず、距離感が埋まらない。
4. 議員側から討論会や実績の報告会などをやってもいいのでは。4年任期中に1回程度。
5. 市長への要望に対し、進捗の回答があった。議会も同様にあった方が良い。
6. 市民の声を議員に届ける方法が分からない。

・市議会だよりについて

1. 読み物に特化すべき。写真や図は、文章の説明的なもの。
2. 子育てなど興味のある記事は読むが、それ以外はあまり読んでいない。一般質問など詳しく知りたいことは、議事録など活用。
3. デザインは二の次。図や写真では、伝え切れない。読み物としての媒体で良いのではないか。
4. 文字の数が多く感じる。読む気がしない。
5. 市報との違い・コンセプトがどこにあって、何をメッセージとしているのか分からぬ。

6. 強調したいポイントが分かりにくい面もある。
 7. 決算の賛否表示が分かりにくい。
-
- ・その他
 1. ムーバスのEV車に関して、中国製は大丈夫なのか気になる。
 2. バリアフリートイレは赤ちゃん利用だけではない。



<グループワークの様子>

4 参加者アンケート (回答者 5 名)

問1 お住まいの地区はどこですか。 [住所（町名まで）]

吉祥寺北町：1名 八幡町：1名 境：1名 吉祥寺東町：1名 中町：1名

問2 年代を伺います。 [年代（該当するものを選択）]

50歳代：1名 60歳代：5名 70歳代：1名

問3 市民意見交換会をどこで知りましたか。

市議会だより：2名 市報：2名 議員から：1名

問4 参加しやすい曜日、時間について伺います。

日曜祝日午前：1名

土曜日曜祝日午前：1名

土曜午後・土曜夜間・日曜祝日午後・日曜祝日夜間：1名

平日午前午後夜間：1名

土曜午後：1名

問5 今後、市民意見交換会が開催されたら、また参加したいと思いますか。

参加したい：5名

問6 本日の運営について御意見がありましたら、記入してください。

- 議員の方と実際にお話しできて、興味深かったです。
- 申込人数を把握するようにしたほうが良い。三連休の土曜ということもあります。参加者が少なくもったいない。平日、夜（の開催）も選択肢では。
- 市民と市議が積極的に意見交換が出来る機会を、お忙しいとは思いますが、定期的に作ってほしい。

（自由記述）武蔵野市議会への御意見・御感想を自由にお書きください。

- このような会をもう少し頻繁に行ってほしいです。市議会がもう少し市民に身近に感じられるようになれば、参加者も増えるのではないかと思います。
- 若者・女性にとってはハードルが高いかもしれない。マルシェ・フェスタという形をとり、自然に市民と議員がコミュニケーションし、最後に会議の形を取るとか。
- 市議さんたちがとてもフラットで親しみやすい方たちで、市民から声が掛かればほぼ必ず会いに行く、というのも、ほとんどの市民が知らないこと。もっと市民に身近な存在であることを周知したほうが良い。

- 全国自治体の中でも先進的なシステムである陳情をもっと周知したほうが良い。

5 議会運営委員会による振り返りと改善への意見

(令和7(2025)年11月28日議会運営委員会議事録より)

1. 実施内容に対する評価

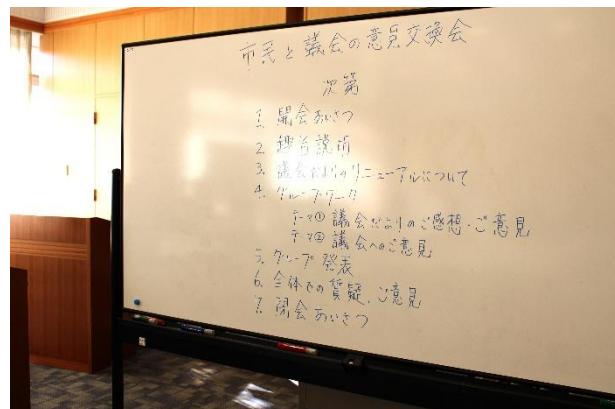
- ① **意見交換の質と意義:** 参加人数は少なかったものの、一人ひとりの発言時間が十分に確保されたことで、参加者からは活発な意見が出され、内容自体は非常に有意義であった。
- ② **広報の潜在的効果:** SNS (Instagram等)での反応は通常時よりも高く、イベントの開催自体に対する市民の一定の関心や評価はあった。
- ③ **オンライン形式の維持:** 参加者は1名であったが、気軽に参加できる仕組みとして継続の必要性はある。
- ④ **議会基本条例の遵守:** 議会全体（ほぼ全員の議員）が参加して市民と対話する場を持つことの重要性は、引き続き必要。

2. 現状の課題

- ① **参加者数の伸び悩み:** 参加者数が合計10名（うち1名はオンライン）と少なく、周知の方法や開催のタイミング（選挙からの距離、社会情勢など）に課題が残った。
- ② **参加する心理的・物理的ハードル:** 休日に市役所まで足を運ぶという設定や、具体的でないテーマ設定が、市民にとって距離を感じさせる要因となった可能性がある。
- ③ **参加者の固定化:** 毎回同じメンバーが参加する傾向があり、議論の内容が似通ってしまう懸念がある。
- ④ **議員と市民の距離感:** 市民側には「誰に相談すればいいか分からない」「議員の顔が見えない」といった心理的な壁が存在するのではないか。
- ⑤ **運営スキルの個人差:** ファシリテーションや意見のまとめ方が個人のスキルに依存しており、議員によって運営の質にばらつきが出る懸念がある。

3. 今後への改善案

- ① **開催場所の見直し（アウトリーチ型への転換）**: 市役所だけでなく、各コミュニティセンターを議員が回るなど、より市民に近い場所での実施を検討してはどうか。
- ② **テーマ設定の工夫**: 市民が関心を持ちやすい具体的な政策テーマを掲げる、あるいは「投げかけ」を工夫することで、参加のモチベーションを高めてはどうか。
- ③ **周知・アピール方法の改善**: サイレントマジョリティに届くような周知方法や、議員がより街頭に出てアピールするなどの活動を検討してはどうか。
- ④ **運営の標準化とツールの活用**: 誰が担当しても安定した運営ができるよう、タイマーを用いた発言時間の管理や、ファシリテーションスキルの共有を行ってはどうか。
- ⑤ **実施形態の再検討**: 次年度以降の実施の有無を含め、現在の形式が市民のニーズに合致しているか、根本的な在り方から再検討を行ってはどうか。



<当日の次第>

6 資料編

意見交換会のチラシ・ポスター及び当日配付した以下の資料について、「6 資料編」として添付いたします。

(1) チラシ・ポスター



(2) 次第

令和7年11月22日

武蔵野市議会 市民と議会の意見交換会

(次第)

13時30分開会/15時30分閉会(予定)

(司会:宮代 一利 議会運営委員会 副委員長)

1. 開会挨拶 木崎 剛 議長
2. 趣旨説明 川名 ゆうじ 議会運営委員会 委員長
3. 議会だよりのリニューアルについて(菅 源太郎 議会広報委員会 委員長)
4. グループワーク

テーマ①議会だよりのご感想・ご意見

テーマ②議会へのご意見(広聴、情報発信の方法など)

※ グループワークの見学のみも可能です

※ オンラインでも行います

5. グループ発表
6. 全体での質疑、ご意見
7. 閉会挨拶 西園寺 みきこ 副議長

アンケートへのご記入をお願いします

(3) アンケート用紙

アンケートのお願い

本日は、市民意見交換会に御参加いただき、ありがとうございます。今後の参考といたしますので、アンケートに御協力をお願いいたします。

なお、インターネットからも御回答いただけます。右の二次元バーコードからアクセスしてください。(令和7年11月30日(日)締め切り)

武藏野市議会 議会運営委員会



問1 お住まいの地区はどこですか。

- ① 吉祥寺東町 ② 吉祥寺南町 ③ 御殿山 ④ 吉祥寺本町
⑤ 吉祥寺北町 ⑥ 中町 ⑦ 西久保 ⑧ 緑町
⑨ 八幡町 ⑩ 関前 ⑪ 境 ⑫ 境南町
⑬ 桜堤 ⑭ 市外 ()

問2 年代を伺います。

- ① 19歳以下 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代
⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代 ⑧ 80歳以上

問3 市民意見交換会をどこで知りましたか。

- ① 市議会だより ② 市報 ③ ホームページ ④ ポスター又はチラシ
⑤ 議員から ⑥ 知人から ⑦ その他 ()

問4 参加しやすい曜日、時間について伺います。

(下表に○をお書きください。)

| | 平日 | 土曜日 | 日曜・祝日 |
|----|----|-----|-------|
| 午前 | | | |
| 午後 | | | |
| 夜間 | | | |

□特に希望はない。

問5 今後、市民意見交換会が開催されたら、また参加したいと思いますか。

- ① 参加したい ② 参加したくない ③ その他 ()

問6 本日の運営について御意見がありましたら、記入してください。

[]

武蔵野市議会への御意見・御感想

武蔵野市議会への御意見・御感想を自由にお書きください。



A large rectangular box containing 20 horizontal dotted lines for writing opinions and thoughts.

市民意見交換会終了時までに回収箱に入れてください。